



府中一小だより

令和7年5月30日
第3号
府中市立府中第一小学校
校長 宮内和夫

運動会を終えて

副校長 阿部 秀嗣

新緑の季節、さわやかな天候のもとで開催された運動会。今年も、府中第一小学校の校庭には子供たちの元気な声と笑顔があふれていました。「最後まであきらめずに挑戦しよう」「仲間と力を合わせてがんばろう」という気持ちを胸に、子どもたち一人ひとりが全力を尽くす姿が印象的でした。

1年生の表現「すまいる 100% ～みんなにサチアレ！～」では、一生懸命に踊る子どもたちの姿がひととき可愛らしく、色とりどりのシャツを着て精一杯頑張る様子は観る人の心を温めました。

2年生の「キラキラよさこい☆ぼくらはスターだ！」では、鳴子を手にした子どもたちの嬉しそうな表情が印象的でした。練習の帰り道にすれ違う際、誇らしげに鳴子を見せてくれる姿が微笑ましく、本番では澄んだ音色とともに愛らしい踊りを披露してくれました。

3年生の表現「やっしょ～まかしょ ライラック！」は、花笠を大きくリズムカルに振り、元気いっぱいの「やっしょ～まかしょ」の掛け声が校庭に響く様子が、エネルギーで印象深いものでした。

4年生「待ちに待った運動会！～この舞台にたって～」では、バトンを使った多彩な技を披露しました。ペアでバトンを投げ合い、息を合わせてキャッチする難しい技には目を見張るものがあり、真剣な眼差しで演技に臨む4年生の集中力が光っていました。円形のフォーメーションでの流れるような動きは、まるで海中のようでした。

5年生の「☆ソーランフェス☆」は、腰を低く落とし、舟をこぐ動作の力強さを十分表現していました。腰を低く落とすのは、きつい動作だったと思いますが、最後までやり切った5年生は、満足そうな顔でした。

6年生「Space Battle Ship YAMATO 2025」では、演奏と行進を同時にこなす高度なパフォーマンスを披露し、全体の統制が見事に取れた演技に「さすが最高学年」と感嘆の声が上がりました。小学生による金管楽器の演奏でありながら、正確な音程と複雑な動きを両立させたその技術は、まさに圧巻でした。

運動会は、一人ひとりがもてる力を存分に発揮する舞台であると同時に、仲間と心をつなげて協力し合う貴重な場でもあります。日々の練習では思うようにいかず、悔しさを味わうこともあったでしょう。しかし、そうした困難な時こそ、友達からの温かい励ましが大きな力となり、共に挑戦する仲間が存在が心の支えとなったのではないのでしょうか。

また、運動会は、単なる競技の場ではありません。努力を積み重ねることの大切さ、自分の力を信じて挑戦する勇気など、かけがえのない教育の機会です。子どもたちはこの運動会を通じて、自分自身の成長を感じるとともに、仲間と協力することの大切さを実感したと思います。

最後に、温かいまなざしで見守り、惜しみない声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の皆様に心からの感謝を申し上げます。皆様の深いご理解とご支援があればこそ、子どもたちは安心して挑戦し、大きく成長することができました。今後も地域全体で子どもたちを育む「チーム府中第一小学校」として、共に歩んでまいりたいと思います。

保護者アンケートから

- ・みんな笑顔で元気よく踊っていて、とても感動しました。
- ・子供たちが生き生きと取り組んでいて素敵な運動会でした。
- ・初めての小学校の運動会でしたが、どの学年にもその学年らしさがあって見ごたえがあり、見ている側も楽しめました。
- ・娘は最後の運動会でした。鼓笛の演奏が素晴らしく、最後の決めポーズで鳥肌が立ちました。